

七代 ^{つるざわ}鶴澤 ^{かんじ}寛治 芸歴 人形浄瑠璃文楽座・三味線

[芸歴]

昭和18年 4月	15歳、父の三代鶴澤寛治郎（後の六代鶴澤寛治）を師匠として、鶴澤寛子を名のる
昭和18年10月	四ツ橋・文楽座にて「艷容女舞衣・酒屋」で初舞台
昭和19年 1月	鶴澤寛弘と改名
昭和23年10月	半ざわ（ほんざわ）になる
昭和24年 5月	三和会に参加
昭和25年 4月	因会に復帰、本澤（ほんざわ）になる
昭和31年 1月	道頓堀・文楽座にて八代竹澤団六を襲名
平成 6年 4月	「三味線格」になる（三味線弾きとしての最高格）
平成 9年 6月	重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定される
平成13年 1月	七代鶴澤寛治を襲名

[受賞歴]

昭和32年 8月	大阪文楽会勉強賞
昭和47年 5月	昭和46年度因協会奨励賞
昭和50年 6月	昭和49年度因協会賞
昭和52年 5月	国立劇場奨励賞
昭和55年 8月	昭和54年度因協会奨励賞
平成元年11月	昭和63年度因協会賞
平成 3年 5月	大阪府知事表彰
平成 5年 4月	佐海キヌ賞
平成 6年 1月	大阪文化祭賞
平成 6年 1月	第13回（平成5年）国立劇場文楽賞文楽優秀賞
平成11年11月	勲四等旭日小綬章
平成14年11月	大阪芸術賞